



(2017年7月取材)

代表 **富原 知佳** × ゲスト **渡嘉敷 勝男**

渡嘉敷 『オリビア』さんでは、介護関係のお仕事をされているそうですね。まずは、富原代表が今のお仕事を始められた経緯からお聞かせ下さい。

富原 学業修了後は飲食業に就き、大阪のミナミや北新地で働いていました。しかし、私が21歳の時に父が病気を患い、介護が必要になったことからヘルパーに転身したんです。

渡嘉敷 なるほど。全く違う業界に入られて、苦勞することも多かったのでは？

富原 意外に思われるかもしれませんが、飲食の仕事と介護の仕事はとても似

ているんですよ。どちらも人の話を聞くのが仕事で、それをお酒を酌み交わしながらするのか、それともお世話をしているのかの違いだけです。そうして数年間介護の仕事を続けていたのですが、ある時、先行きの不安や女性としていきいきと活動するイメージが持てないということから、保険の営業職に転職しました。3年ほどしたころ、介護職に復職する機会があり、もどることに。当初は乗り気ではありませんでしたが、改めて介護の仕事をしてみたところ「本当に良い仕事だ」と感じることができました。

渡嘉敷 距離を置いたことで、色々と見え方が変わったのでしょうか。その後、

オリビア 合同会社

大阪府大阪市生野区田島5丁目6番29号

エステサロンを併設した 画期的なヘルパーステーション

独立を？

富原 はい。今からおよそ1年前にヘルパーステーションとして営業を開始しました。開業するに当たり、私自身があったら良いと思うものを全てかたちにしていこうと決めたんです。ですから、当所にはエステティックサロンが併設されているんですよ。機械や技術、料金設定にもこだわって、アットホームな雰囲気になっています。また、毎月1回フラワーアレンジメント教室も開いています。老人ホームでも開くことがあって、地域の方や施設の利用者さんに喜んでいただいていますね。今後もこうした「あったら良いな」と思えるものをどんどんかたちにしていって、利用者さんにも介護に携わるスタッフにも喜んでもらえるようにしていきたいと思っています。